

冬休みを「言葉と向き合う時間」に

校長 博田 英明

皆さん、おはようございます。校長の博田です。今日で第２学期が終わり、明日から冬休みを迎えます。まずは、今学期を無事に終えられたことを皆さんと共に喜びたいと思います。部活動や文化祭などの学校行事、そして日々の授業に真剣に取り組んだ皆さんの努力に心から敬意を表します。

さて、今日は３つのテーマで話をします。

１つ目は、３年次生の進路実現に向けた大切な時期について

２つ目は、２年次生の台湾修学旅行に向けた準備について

３つ目は、１年次生の学習の振り返りについて

そして最後に、私が今年の夏に２日間、大阪・関西万博を訪れた際に感じた「国際交流の大切さ」と、『声に出して読みたい日本語』で有名な明治大学教授の齋藤孝先生の著書にある名言を結びつけながら、皆さんにメッセージを送りたいと思います。

■ ３年次生へ ー 進路実現に向けて

３年次生の皆さんは、いよいよ進路実現に向けて、最後の大切な時期を迎えています。受験勉強や面接準備など、緊張感のある毎日だと思いますが、ここで忘れてはいけないのは「自分の力を信じて最後まで諦めないこと」です。結果が出るまで不安になるのは当然ですが、不安をエネルギーに変えて努力を続ける人が、最終的に道を切り開きます。齋藤孝先生は著書『頭のよさは国語力で決まる』の中でこう述べています。「**言葉を鍛えることは、思考を鍛えることだ。**」これは、国語力を高めることが、論理的な判断力や表現力を育てるという意味です。受験勉強は単なる知識の暗記ではなく、言葉を通じて自分の考えを深める営みです。問題文を丁寧に読み、問いの意図を正確に理解する力は、国語力に直結します。言葉を鍛えることが、皆さんの未来を切り開く鍵になります。最後まで粘り強く、言葉と向き合ってください。皆さんの努力は必ず形になります。

■ ２年次生へ ー 台湾修学旅行に向けて

２年次生の皆さんは、新年早々に予定されている台湾への修学旅行に向けて準備を進めていると思います。異文化に触れる機会は、国際感覚を養う貴重な機会となり、人生において大きな財産となります。現地での交流をより豊かなものにするために、ぜひ「言葉の力」を意識してください。私が今年の夏の２日間、大阪・関西万博の会場「夢洲」を訪れたとき、世界中の国々の人々がそれぞれの文化や技術を紹介し、未来に向けた協力を語り合っていました。その光景を見て、私は改めて「国際交流の大切さ」を実感しました。こ

れからの時代、国境を越えて協力し合うことが当たり前になります。今回の台湾での現地交流校の学生やB & Sでお世話になる現地大学生との交流を通じて、まずは言葉を通じて心を通わせる経験をしてください。齋藤先生の本には「**言葉を持たない人は、世界を持ってない。**」という言葉があります。これは、言葉を通じて世界を理解し、広げることの重要性を示しています。台湾の歴史や文化を事前に調べ、質問したいことを具体的に考えておくことで、現地での体験は何倍にも深まります。準備の段階から学びを楽しんでください。

■ 1年次生へ — 学習の振り返り

1年次生の皆さんは、この1年間で高校生活に慣れ、多くのことを学び、挑戦し、学習習慣も少しずつ身に付いてきたことと思います。冬休みは、その学びを振り返る絶好の機会です。教科書を読み返し、ノートを整理し、自分の言葉でまとめること。それは単なる復習ではなく、思考力を高める行為です。1年次生の皆さんには、ぜひこの冬休みに「自分の学びを言葉で整理する」ことを意識してほしいと思います。齋藤先生は「**読書は思考の筋トレだ**」と言っています。国語力はすべての教科の基盤です。数学の文章題も、理科の実験レポートも、社会の論述問題も、すべて「読む力」「書く力」が問われます。冬休みには、ぜひ読書にも挑戦してください。物語でも評論でも構いません。読んだことを家族や友人に話すことで、言葉の力がさらに鍛えられます。言葉を鍛えることが、皆さんの学力全体を底上げします。

■ 最後に — グローバル時代を生きるために

大阪・関西万博で20館以上のパビリオンやコモンズを回って私が強く感じたのは、「世界はつながっている」ということです。AIやデジタル技術が進化し、国境を越えた協力がますます重要になる時代に、私たちはどう生きるべきでしょうか。答えの一つは、「自分の考えを言葉で伝えられる力を持つこと」です。齋藤先生の言葉を借りれば、「**頭のよさは国語力で決まる**」。これは、単に国語の成績が良いという意味ではありません。自分の考えを整理し、相手にわかりやすく伝える力こそが、これからの時代に必要な力です。3年次生は進路実現に向けて、2年次生は国際交流に向けて、1年次生は学習の基盤づくりに向けて、それぞれの課題に取り組む冬休みにしてください。そして、どの年次にも共通して言えることがあります。それは、「**言葉を大切にすること**」です。ぜひ、この冬休みを「言葉と向き合う時間」にしてください。皆さん一人ひとりが、自分の言葉で未来を切り開いていくことを心から期待しています。新しい年に、皆さんがさらに成長した姿で登校してくれることを楽しみにしています。

それでは、良い冬休みを過ごしてください。